

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅱ-1	事業名	ごみ収集			
所管	環境	局	環境事業	部	課	

【事業内容】

本市では、一般廃棄物(ごみ、資源)を迅速に収集し、生活環境の保全と公衆衛生の維持向上を図るとともに、家庭から排出される廃棄物のうち、資源化が可能なものを分別し、循環型社会の構築に寄与している。「家庭系ごみ」については「生活ごみ」(週2回)の計画収集をはじめ、「粗大ごみ」や家庭の引越し等による「臨時のごみ」は申込による有料収集を実施。また、資源化が可能な「ペットボトル」「缶・びん」は月2回、「プラスチック製容器包装」は週1回、「小型金属」は月1回、「古紙類(美原区で実施)」は月1回、それぞれ収集を行い資源の有効利用を図っている。「事業系ごみ」については、市への委託(有料(週6回)若しくは臨時)収集のほか、一般廃棄物収集運搬業許可事業者による収集、事業者自らが清掃工場に直接搬入する方法がある。

総コスト(千円) (平成23年度決算額) 5,220,143千円 (平成24年度予算額) 5,510,238千円

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】

<審査員>						<検討委員(参考意見)>					
今後の方向性	事業の方向性	拡充	/	1	1	今後の方向性	事業の方向性	拡充	/		1
		現状維持	/	4	11			現状維持	/	1	2
		縮小	/					縮小	/		
		廃止	/					廃止	/		
			ゼロ	縮小	現状維持			拡大		ゼロ	縮小
公金投入の方向性(人件費含む)						公金投入の方向性(人件費含む)					

【改善策について】(複数回答あり)

		審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	5	1
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	5	0
	サービス受給者の自己負担について見直しが必要	3	1
	市以外からの財源の確保を図るべき	0	0
	担い手のあり方について見直しが必要	4	0
	その他	8	2

【「その他」の具体的記述】

- ・生活ごみで夜出すとカラスや猫が来るので朝の時間に出して欲しい。
- ・市民の意識向上、ごみ削減率の設定と市民への周知。
- ・高齢者が多いので、今のままで十分。ややこしい分別になる。
- ・広報活動を拡充させ、市民に周知する事が必要。
- ・地域単位での分別の実施と生活ごみの有料化。
- ・外部業者との委託契約の内容等、産業廃棄物との関係。
- ・ごみ収集委託業務のコスト(業務のサービス内容も含む)が高すぎるので、削減するべき。
- ・小型金属、トレ、電池回収などは民間利用すべき。

【具体的な改善策提案】

- ・4R運動は資源化できるものについては取り組まれているが、粗大ごみについては不十分。収集は有料であっても、回収後、破碎、焼却だけでなく、使えるものは修理して市民に提供するリサイクルの仕組みを作る。修理はそうした事の得意なシニアボランティアの活用もありうる。市民がリサイクル意識を高めるため、リフォーム講座や生ごみの堆肥化などの方法を伝える工房を作り啓発する。収集はスーパー等との連携をより促進。集団回収の報償金は不要。
- ・家庭ごみの有料化による減量化及び資源化の促進。
- ・生活ごみを有料化することも視野に入れる。ごみ袋を有料にすれば紙ごみ減量できると思う(紙ごみの資源化)。分別ステーションを設けて、地域のコミュニティー単位でごみの分別を行う方法もある。

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅱ-1	事業名	ごみ収集			
所管	環境	局	環境事業	部	課	

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【具体的な改善策提案】

- ・資源化、リサイクルの促進について堺市として方針を明確にし、市民に示すことが市民の意識啓発の第一歩。現状はややコスト優先で市としての取組み姿勢の弱さを感じる。
- ・予算が55億円を超えるとともに市民生活に直結する重要な事業と考えます。「ごみ分別～ごみ削減～コスト削減」のアピールがわかりにくいので、公開方法を再考するべき。現在の資料・説明では何を訴えたいのかわかりにくい。コスト削減も含めてPR方法(資料をオープン)を再考して改善してください。
- ・収入の部分でPRし目標を設定する。紙ごみ(広告)を減らす方向、事業主の意識改善。
- ・分類の見直し(①小型金属 制約が多く出していない②ペットボトル スーパーに戻して出していない。←①②は廃止がプラスチックに統一。③レアメタルが大切なので電化IT用品の回収。④缶(アルミ等)は紙と同じように他に出してお金をもらっている。
- ・ごみ費用を減らす。(①ごみの量が減っているのに委託費が増えているので競争入札を厳しくする。②分類を2つ減らして事業費を2/3まで下げられるのではないかと。③市の回収時の前に一般廃品回収車が無料で低価で集めている。)
- ・美原区だけがなぜ古紙回収になっているか聞きたかった。
- ・分別化を進めごみを減らしたらよいと思うがコストがどれくらいかかるか具体的に知りたい。
- ・商品は流通化が活発になるとごみ量は増加する。また、ごみの発生根源はスーパー等の事業元にある。事業所に対する指導を強化する。
- ・生活ごみを週2回、すごく有り難く思っていますが色々分別が難しい。
- ・曜日を守ってしっかりごみを出す。誰もができる簡単な出し方がいい。
- ・ごみを減らすのが目的なので、粗大ごみの有効活用、破碎処理は再考をお願いします。
- ・集団回収報償金のあり方は時代のニーズと少し離れていると思う。CO2削減の為にその費用を有効利用して欲しい。
- ・他市に比べ分別回収が遅れていると思われるので、再度広報紙等により周知するとともに個別に町内会等で説明会などを行う事が必要。
- ・粗大ごみ(ベッド・机等)のリサイクルがしやすいようにしてほしい
- ・充電電池等は行政も民間も消極的で、一般ごみとして捨てられる現状があり公害の要因ともなりえる。
- ・これからカラスも多くなってくるので、ごみ収集車の来る時間をだいたいでいいので知らせてほしい。
- ・リサイクル率、コスト面の改善等時系列的、具体的なアイデアを常に考えておいて欲しい。

【廃止の理由】(複数回答あり)	審査員	検討委員
行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)	0	0
時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない	0	0
事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい	0	0
他の事業との結合・再編を検討すべき	0	0
サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)	0	0
効果がない(低い)	0	0
その他	0	0
(「その他」の具体的記述)		

【その他意見等】(自由記入欄に記載された意見)

- ・ごみ収集事業は必ず維持すべき重要な事業である。市民の分別努力が目に見える指標にまとめれば(要約できれば)良いと思う。
- ・ごみ収集委託費が高すぎると感じます。①委託費の削減(新規参入業者を増やすなどして競争)②ごみ削減による収集日の低減等の検討を進めるべきと考えます。
- ・検討委員と市職員による有意義な意見交換のために、検討委員も堺市のごみ収集の実情を知っておくべき。